

## ナミテントウの斑紋タイプ その2 (兵庫県朝来市・養父市)

近藤伸一<sup>1)</sup>

ナミテントウには翅の斑紋に遺伝的多型が存在し、二紋型、四紋型、まだら型、紅型の4タイプに分類されている。斑紋のタイプは北に行くほど紅型が多く、南に行くほど二紋型が多いとされている。

2013年に朝来市上八代の神社(標高250m, 南西斜面)で越冬前に集まったナミテントウの斑紋調査の結果を報告したが(近藤, 2013), その後同所と北に隣接した養父市長野の斎神社でも斑紋調査を行ったので報告する。

### 1 朝来市上八代

前回の報告(近藤, 2013)に2014年の記録を加えた。2015年以降は晩秋になっても付近のモミジが落葉せず、日当たりが悪くなり集団の飛来は見られなくなった。

### 2 養父市長野

前記の朝来市上八代に隣接した養父市長野の斎神社(標高210m)で2017, 2019, 2021年に調査を行った。斎神社は県道に面した南西斜面に位置し、11月の快晴の日に神社の玉垣や鳥居に多数のナミテントウが飛来してくる。



表1 朝来市上八代.

タイプ	2013 11/24・12/5		2014 11/24・11/28		合計	
	個体数	%	個体数	%	個体数	%
2紋型	350	75.6	172	73.2	522	74.8
4紋型	53	11.4	25	10.6	78	11.2
まだら型	16	3.5	10	4.3	26	3.7
紅型	44	9.5	28	11.9	72	10.3
計	463		235		698	

表2 養父市長野.

タイプ	2017 11/26		2019 11/17		2021 11/17		合計	
	個体数	%	個体数	%	個体数	%	個体数	%
2紋型	325	73.2	129	76.8	137	68.2	591	72.7
4紋型	58	13.1	19	11.3	29	14.4	106	13.0
まだら型	17	3.8	6	3.6	11	5.5	34	4.2
紅型	44	9.9	14	8.3	24	11.9	82	10.1
計	444		168		201		813	

表3 南但馬(朝来市, 養父市)の斑紋タイプ集計.

二紋型 74% (1113 個体)	四紋型 12% (184 個体)	まだら型 4% (60 個体)	紅型 10% (154 個体)
			

### 3 調査結果

朝来市, 養父市地区の結果をみるとタイプごとにほぼ同じ割合で現れた。南但馬地域の斑紋タイプの割合はかなり安定しているものと思われる。

### 4 新たに確認した斑紋のタイプ

2013年の調査で22種類の斑紋タイプを紹介したが、今回新たに次のタイプを確認した。

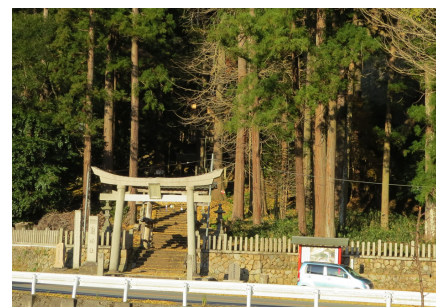


写真1 採集場所の養父市長野斎神社.



写真2 鳥居を這う ナミテントウ  
2017年11月26日, 午後3時ごろ.

### ○引用文献

近藤伸一, 2013. ナミテントウの斑紋タイプ(兵庫県朝来市). きべりはむし, 36 (1): 8-9.

<sup>1)</sup> Shinichi KONDO 兵庫県朝来市